

みんなでつないでいこう 思いやりの心

いじめを許さないまち八王子

「いじめを許さないまち八王子条例」を聞いたことがありますか？

この条例は、「いじめを絶対に許さない」という理念のもと、いじめが起こらない環境づくりや大人・子どもの責任や役割などについて定めたものです。

市では、いじめのない健全な環境をつくるために大切な「思いやりの心」の育みを重点目標に据え、推進しています。

「思いやりの心」とは、何でしょうか？

それは、相手の立場に立ってものごとを考える心です。子どもは、家庭・学校・地域での人との関わりの中で、「思いやりの心」を学び、成長していきます。日頃から、子どもの近くにいる大人が子どもとのコミュニケーションを通じて、相手の立場に立って考える習慣を身につけさせることは、とても大切です。習慣として身につけば「思いやりの心」が家庭、学校さらに地域に広がっていきます。

STOP! 新型コロナウイルスによる差別

新型コロナウイルス感染症が流行しています。このウイルスが怖いのは、右図のように病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気の拡散につながるという「病気・不安・差別の3つの“感染症”」という顔をもっていることです。

思いやりの心で断ち切ろう

この負のサイクルを止めるため、だれもが感染者になりうることを理解し、相手の立場に立った思いやりの心で行動しましょう。不安をやわらげ、差別を広めないようにするため、次のような行動をしましょう。具体的な子どもと接するときのポイントやストレス対処法については、下記お役立ち情報をご覧ください。

- ・正しい情報を確認し、子どもにも、わかりやすく伝えましょう。
- ・誰かのせいではなく、目に見えないウイルスのせいであることを伝えましょう。
- ・子どもの気持ちに耳を傾け、どんな気持ちであっても否定せず受け止めましょう。
- ・ストレッチ、お絵かき、一緒にお料理など、親子でできるストレス対処法を取り入れましょう。
- ・リラククス法を見つけるなど、大人もストレス対処をしましょう。
- ・差別的な言動に同調しないようにしましょう。

日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」



国立成育医療研究センター「新型コロナウイルスと子どものストレスについて」



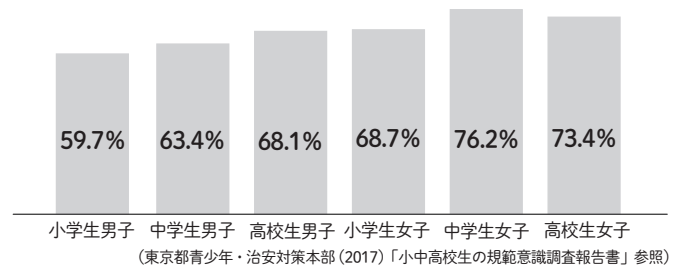
みんなで「思いやりの心」を育む環境をつくろう

子どもの「思いやりの心」を育むためには、家庭や学校だけではなく、地域の力も必要です。市では、地域の皆さんには日々の声かけ、地域の清掃やお祭りといった親子で参加できる行事の実施など、子どもの健やかな成長を支える「環境づくり」に努めて欲しいと考えています。

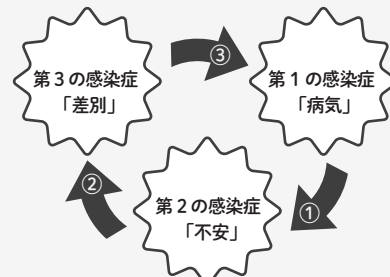
この「思いやりの心」を育むための「3つの行動指針」を定めました(p.2～3参照)。みんなで実践し、子どもが健全に育つ環境をつくっていきましょう。



質問 「見知らぬ人に対してでも、相手の立場になって考える？」に「自分は、あてはまる・少しあてはまると思う」と回答した子どもの割合



(図) 3つの“感染症”により偏見や差別が生まれる仕組み



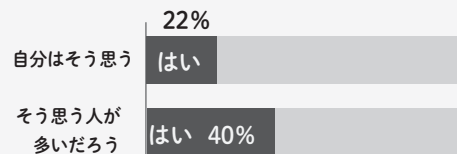
- ① 未知なウイルスでわからないことが多いため、「不安」が生まれる。
- ② 人間の生き延びようとする本能により、ウイルス感染にかかわる人を遠ざける。
- ③ 差別を受けるのが怖くて受診をためらい、病気が広がる。

(日本赤十字社(2020)「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」参照)



子どもの新型コロナウイルスに対する意識 (6～17歳の子ども 912名の回答)

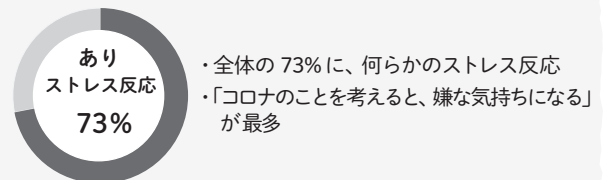
質問 コロナになった人とは、治っても付き合うのをためらう



(国立成育医療研究センター(2020)「第2回コロナ×子どもアンケート」参照)



子どもの新型コロナウイルスに対するストレス (小中高校生 1,965名の回答)



(国立成育医療研究センター(2020)「第3回コロナ×子どもアンケート」参照)

お役立ち
情報